

タイトル	「現代における商店街の在り方」		
	商店街は地域を活性化させる起爆剤！？		
所属	中京大学現代社会学部 岡部ゼミ	氏名	岩崎 圭一郎

## 1. はじめに

【商店街を活性化させるために】

商店街について

- ・ 商業集積＋組織で形成
- ・ 個々の小売業者を専門店化



## 2. 研究方法

【文献調査】



- ・ 商店街の歴史
- ・ 覚王山商店街の再建ヒストリー

**商店街を活性化させるものは何なのか**

## 3. 研究結果

【商店街の歴史】

1920～1945年【商店街の胎動期】

- ・ 戦後：庶民の消費行動の場として発展。
- ・ 同業者同士の組織化 → 異業態同士の組織化

1960～70年代【商店街安定期】

- ・ 商店街振興組合法 施工  
(商店街組合に対する法人格を与えるもの)
- ・ 共同仕入れなどの共同経済事業
- ・ アーケードや駐車場建設などの環境整備事業

1970年代末～

- ・ 新しい消費行動の場の出現  
(スーパーやコンビニ)
- ・ 郊外化＋後継者問題



**商店街の衰退**

【覚王山商店街再建ヒストリー】

- ・ 覚王山商店街：かつて閑散
- ・ 商店街組合が発足

→スローガン

**歴史と伝統を生きし、  
こだわりある店が集まる商店街**

→多文化で個性豊かな商店街に再建!!

【覚王山商店街の地域活性化術】

- ・ 「古」と「今」がコンセプト  
→独自の商店街を運営
- ・ 多様なイベント
  - ・ 毎月21日：縁日
  - ・ 年三回：覚王山（春、夏、秋）祭り
  - ・ 毎秋：覚王山参道ミュージアム

## 4. まとめ

【現代の商店街の在り様として...どのように活用できるか？】

①現代の商店街の在り様

高い専門性のお店で、他の店舗との差別化

→多文化で個性豊かな商店街

例)：覚王山商店街 「古」(歴史的建造物や文化)と「今」(モダン化、アースティックス)

②商店街をどの様に活用する!?

・ 消費行動の場という概念を一新

→△消費活動の場、○観光地



(左)昭和62年・(右)平成24年 覚王山商店街の写真 [千種区公式HPより千種区の今と昔の写真  
<http://www.city.nagoya.jp/chikusa/page/0000044362.html>]

【参照文献】

・ 新雅史氏 光文社新書 2012年5月20日初版発行 『商店街はなぜ滅びるのか 社会・政治・経済史から探る再生の道』

・ 株式会社ゼンリン [発行人/高山 善司] 2010「特集 商店街を歩く 名古屋市千種区」 『Actiz mi-ru-to 名古屋市 千種区 2010年保存版』 4 - 7